

令和元年度岡山県地方独立行政法人評価委員会(第3回)の議事録

- 1 日 時 令和元年7月30日(火)14:00～15:00
 2 場 所 ピュアリティまきび(岡山市北区下石井)
 3 出席委員 萩原委員長、秋山委員、小田委員、清水委員、高木委員
 4 議 事

公立大学法人岡山県立大学

- (1)平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果
 (2)第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果

【要 旨】

4 議 事

- (1)平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果
 (2)第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果
 ・岡山県より説明

委員発言要旨	事務局発言要旨
<p>法人自己評価と委員会評価で、数字が変わっている部分はないのか。</p> <p>前回、少し厳しい意見も言ったが、委員会参考意見欄に反映されているし、むしろCOC+に関しては評価を上げてもいいのではないかと思ったくらいである。特段、追加意見はありません。</p> <p>評価結果について、私も特段の意見はありません。 評価結果に直接関わることではないが、先日、外国人労働者の受入れに関連したテレビ番組を見て、外国人労働者が世界で奪い合いになっていると知った。日本でも各県で奪い合いになっているようだ。そして、外国人労働者へのインタビューでは、「日本で学びながら仕事をしたい」と話していた。本県では、県立大学で学びながら仕事ができる機会を提供したらちょうどよいのではないかと感じた。例えば、外国人労働者の就学支援や仕事に関連した学びの場の提供等ができれば、ひいては県内の企業への支援にもなり、地域貢献にもなると思った。</p> <p>外国人の就学支援については、第3期中期計画の中でも一部触れられている。第3期中期計画は6年間あるので、考慮しながら進められればよいと思う。</p> <p>評価内容については、満足できる点数を取っているし、県立大学は総社にとっての財産だと思う。子を持つ親から、「県立大学が近い距離にあってありがたい」という話をよく聞く。桜が有名できれいな大学だし、学費も安く、入学を望まれる家庭も多い。特色ある学部も多いので、今後も頑張ってファンを増やして欲しい。総社の商工会議所には県立大学の卒業生もおり、よく頑張っている。今後も、県立大学に行きたいと思う人を増やしてもらえたらと思う。</p> <p>国家試験の合格率も目標を達成しており、きちんと実績を上げていてすばらしいと思う。</p>	<p>当委員会評価案は、自己評価と同一となっております。</p>

先ほどの発言にもあったとおり、もっと高い評価でもよいのではないかと思うが、今までの意見がしっかりと反映されているとも思う。沖学長のもとで一丸となって、ブランド化を進めて欲しい。

県立大学は、質実でよい大学であるというブランドを形作っている。地元企業からも、県立大学では専門的な学問に触れる機会も多く、卒業生は地頭がよく、よく勉強していると評判である。今後も、まじめで即戦力となるような人材を育てて、岡山の発展に寄与して欲しい。

それでは、平成30年度実績及び第2期中期計画実績について、評価委員会として合意でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

評価については議決しましたが、細かな字句の修正については、事務局と委員長に一任いただくということでしょうか。

(「異議なし」の声)